

第94回蒲郡市新型コロナウイルス感染症対策本部議事概要

(1) 蒲郡市の感染状況について

【事務局】

市内では6月4日に10人の感染が発表され、直近1週間だと107人の感染が発表されている。

6月4日時点で、直近1週間の感染者が123人でレベル4相当、前1週間の比が下降でレベル2相当、市民の入院者数が1.4人でレベル2相当、療養者数が197人でレベル4相当、市の陽性率は5月29日時点で20.6%とレベル4相当、県の確保病床使用率は6月1日時点で17.2%とレベル2相当。

【中山感染症対策本部会議アドバイザー】

感染者数は多いが重症化率が低く、亡くなる方も少ないという状況になってきた。オミクロン株が、感染力は強いが重症化しにくい「BA.2」に置き換わってきており、このまま同じ変異株の感染が続けば感染しても免疫が付き、「withコロナ」が進むのではないかと予想される。今後、異なった変異株が現れ、オミクロン株より感染力が強かったり、重症化率が高くなったりする場合はレベルを上げる必要があるかもしれないが、現状のオミクロン株のまま、あるいは重症化率が低いウイルスに変化すれば、状況は落ち着いてくると思われる。

現在は若い方の感染がほとんどになっている。今後重症者を増やさないためにも、高齢者やリスクのある方への予防接種が重要になる。若い方は重症化しにくい、高齢者等へ感染させないようにするという点はこれまで通り徹底していかななくてはならない。

感染者のうち軽症者がほとんどという現状においては、レベル4や5へ引き上げる段階ではないと思われる。変異株が増える、重症者が増える、その他不測の事態が発生した場合はレベルの引き上げを検討する必要があると思うが、現状の株においては、市民生活を取り戻していくという意味でも、少しずつできることを広げていく段階になっている。

(2) 今後の対策について

ガイドラインや各公共施設における対応について見直し、市民活動の制限

を緩和する。見直し案については本会議の協議を踏まえ修正を行い、各施設に周知・適用していく。

【決定事項】

- ・警戒レベル3を継続（期間は当面の間）
- ・「蒲郡市新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」及び各公共施設における対応の一部変更